

**「次世代バイオマーカービジネス」ワークショップ・交流会**  
**開催のお知らせ／参加者募集**  
**企画・主催：サイリック（事務局）、共催：実行データサイエンス**

◆開催名：次世代バイオマーカービジネスワークショップ・交流会

◆開催趣旨・目的

- 研究(研究者)と応用(企業担当者)のトランスレーショナルの可能性を研究・模索する「場」を提供する
- 第一線の研究者からの研究報告およびビジネスサイドの報告や意見発表を行い、接点を探る機会とする
- 今回は FDA の研究者との交流の場も企画しています(都合により不可の場合もあります)

3月4日に裏面にご案内するバイオマーカーに関する「横浜市大・FDA(米)共催/国際学術ワークショップ」が開催されますが、それに出席するため、FDAの研究者が来日されます。都合がつけば当会の「昼食会・交流会」で交流の機会を設ける予定です(参加できない場合もあります)。

◆開催日時：2009年3月3日(火) 9:50~16:00(講演会、交流会等を含む)、その後「懇談会」を予定

◆会場：横浜新技術創造館1号館 大会議場(50名+α収容)

横浜市鶴見区小野町75-1(JR鶴見線「鶴見小野」駅下車徒歩5分)

◆イベント・スケジュール及び内容(時間は多少の変更もあり得ます)

<開場・受付>

○9:50~10:10 開場、受付(「参加費」をお支払いいただき、資料をお受け取りください)

<開会あいさつ・趣旨説明等>

○10:10~10:30 サイリック社長・多田 丞  
横浜市立大学客員教授・実行データサイエンス社長・山口行治

<学術講演>

○10:30~11:00 「オミックス医療とバイオマーカー」  
田中 博先生(東京医科歯科大学医学部情報医科学センター長、教授)

○11:00~11:30 「トランスレーショナル研究を目指してー包括的プロテオーム解析によるバイオマーカーの探索と応用」  
野村文夫先生(千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学・教授)

<昼食会・交流会>

○11:30~12:00 昼食会(昼食会、「お弁当」「お茶」を用意いたします)

○12:00~13:00 交流会(出席者の簡単な自己紹介と引き続いて交流会を開催)  
上記に FDA の研究者の方の参加が予定されています。

<ビジネス動向報告会>

○13:00~13:30 「バイオマーカー・データベースの開発と利用」  
梶 則夫氏(トムソン・ロイター・グループ・トムソンコーポレーション(株)  
製薬・化学営業部 アカウントマネジャー)

○13:30~14:00 「バイオマーカーによるテーラーメイド医療開発の現状と展望」  
内田景博氏(バイオマーカーサイエンス・社長)

○14:00~14:30 「安全性バイオマーカーの最新動向」  
山口行治氏(横浜市立大学客員教授・実行データサイエンス社長)

<ワークショップ>

○14:30~16:00 コーヒー休憩に続き参加者による「ワークショップ」、16:00 ごろ終了予定

◆会費：5,000円/人(資料代、昼食代、コーヒー代等を含む)、当日会場にてお支払いください。

◆募集人員：50名(「次世代バイオマーカー」調査資料購入先優先、先着順) (領収書発行)

◆懇談会：交流会等終了後(16:00以降2時間程度予定)に当会(仮称：次世代バイオマーカービジネス・スタディグループ、継続を前提として)の今後のあり方、進め方や当面の計画などについて、有志の方(ご賛同の方)にお集りいただき、意見交換会をもちたいと思います。会場は「鶴見駅」周辺で設定し、会費5,000円で予定しています。ご賛同の方は事前に御申し出いただければ幸いです。懇談会費は受付でお支払いください。領収書等は用意いたします。

株式会社サイリック(代表：多田 丞)

〒162-0054 東京都新宿区河田町7-6 ID河田町ビル1階(2009年2月1日に移転いたしました)

電話：03-3356-7788 FAX：03-3356-7733 E-mail：tada@sciric.com 担当/多田、田中

## ＜第2回 横浜市立大学・米国食品医薬品庁共催国際ワークショップ(予告)のご案内＞

International Workshop co-sponsored by Yokohama City University & FDA (United States Food and Drug Administration) Biomarkers for Development of Biological Products and New Therapy

米国食品医薬品庁(FDA)・生物製剤評価センター(CBER)と横浜市立大学は、平成18年に締結した覚書に基づき、連携して医療・生命科学分野における研究・教育を推進しています。第1回の共催学術フォーラムは平成20年1月29-30日に「生物製剤の成功を促進する科学ツール」をテーマに開催いたしました。

今回は、予防、診断、治療の向上、あるいは生物製剤を含む新薬の開発などを加速する上で注目されているバイオマーカーをテーマに取り上げます。FDAはじめ国内外から著名な研究者を招き、バイオマーカー活用の新たな可能性や道筋について討論し、将来の展望について考える場を提供します。

### 開催予告案内

テーマ:「生物製剤の開発と新しい治療法のためのバイオマーカー」

お申込み先: 横浜市大・米国食品医薬品庁共催 国際学術ワークショップ事務局

株式会社相鉄エージェンシー内 担当: 矢野

〒221-0052横浜市神奈川区栄町5-1YCS5階

TEL 045-450-1831 FAX 045-441-8444 FDAYCUworkshop@soag.co.jp

お問合せ先: 横浜市立大学先端医科学研究課 TEL 045-787-2506

日程:平成21年3月4日(水) 9:30-18:30 会場:横浜市立大学医学部ヘボンホール(横浜市金沢区)

参加費:ワークショップ 10,000円/名 (行政・学術関係者は5,000円)

主催:横浜市立大学・CBER-FDA 協賛:横浜国立大学 ほか 後援:(予定)厚生労働省、横浜市

会場:横浜市立大学医学部ヘボンホール

詳細は、<http://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/fda2.pdf> にアクセスしてください。

### ＜開催スケジュール (一部紹介)＞

2009年3月4日(水)プログラム

スケジュール・講師の予定により演題が多少変更となる場合があります。同時通訳を予定しています。

**[9:30 - 10:00] Opening/Introductory Remarks** (開会の辞および挨拶)

**Tsutomu Fuse, PhD, President, Yokohama City University** 横浜市立大学学長

**Shuichi Kishida, Councillor for Pharmaceutical Safety Minister's Secretariat**  
Ministry of Health, Labour and Welfare 厚生労働省大臣官房審議官

**Chintamani D Atreya, PhD, Office of Blood Research and Review, CBER/FDA**

**[10:00 - 12:00] Morning Session: Search and Translational Research on Biomarkers** (バイオマーカー探索および橋渡し研究)

**10:00 - 10:25 Proteomics in the Search for Biomarkers: Current Status and Future Prospects** (バイオマーカー探索におけるプロテオミクスの現状と展望) **Michail Alterman, PhD, Division of Cellular and Gene Therapies, Office of Cellular, Tissue and Gene Therapies, CBER/FDA**

**10:25 - 10:50 Human Proteomes in the Search for Disease-Related Proteins** (疾病原因タンパクの探索におけるヒトプロテオーム) **Hisashi Hirano, PhD, Department of Supramolecular Biology, International Graduate School of Arts and Sciences/YCU**

**10:50 - 11:15 Genes Relevant to Cellular Polarity: From Mouse Models to Human Diseases** (細胞極性関連遺伝子: マウスモデルからヒトの疾病へ)

**Shigeo Ohno, PhD, Department of Molecular Biology, Graduate School of Medicine/YCU**

**11:15 - 11:40 Translational Research utilizing Imaging Biomarkers** (イメージング・バイオマーカーを活用した橋渡し研究) **Tsuneo Yano, Riken Center for Molecular Imaging Science**

**11:40 - 12:00 Discussion** (討論)

**[12:00 - 13:15] Lunch Break and Poster Session** (昼食およびポスターセッション)

**[13:15 - 15:45] Afternoon Session 1: Biomarkers for Development of Biological Products and New Therapy** (生物製剤と新治療法開発のためのバイオマーカー)

**13:15 - 13:40 The Critical Path to Drug/Device (Companion Diagnostics) Co-development** (コンパニオン診断のための薬剤・機材同時開発に向けたクリティカルパス) **Dr. Sousan Altaie, PhD, Office of In Vitro Diagnostic Device Evaluation and Safety, CDRH/FDA**